

事務事業名		葛生図書館貸出事務					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	生涯学習部	担当課	生涯学習課
	政策	2	生涯にわたり学びのあるまちづくり				担当係	社会教育係	担当課長名	飯塚昭宏	
	施策	1	生活を豊かにする生涯学習の推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1	学習の場の提供				実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14741	一般	10	4	3	葛生図書館貸出事務					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	T13年度～ 年度		根拠法令 条例等	図書館法 佐野市図書館条例		実施方法		直営	
	事業区分		実務分類		その他直接サービス提供事業		リーディングプロジェクト		該当なし		
	重点課題	該当なし		市長マニフェスト	該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成24年度実績(平成24年度に行った主な活動内容)						
<ul style="list-style-type: none"> 図書館資料を選定・購入・配架・除籍等、資料の整備管理を行う。 図書館資料の貸出 返却を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館資料の選定・発注・購入・配架・除籍等の資料管理を行い貸出業務を行った。 利用者の読書意欲を引き出すため、月ごとにテーマを決め、図書資料の展示を行った。 参考図書及び一般書の配架変更を行った。 公開室に郷土資料のコーナーを作った。 ヤングアダルトコーナーの整備を行った。 						
	活動指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	貸出冊数	冊	23,913	24,148	23,919	22,044	
	蔵書冊数	冊	61,839	62,933	64,285	65,484	
	1年間の図書館資料の受入冊数	冊	1,680	1,364	3,498	2,285	

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

<ul style="list-style-type: none"> 市民(佐野市在住または通勤・通学者、両毛広域圏内在住者) 図書館資料 	対象指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	図書館を利用できる人の数(市民数)	人	125,639	124,999	124,299	123,722	
	蔵書冊数	冊	61,839	62,933	64,285	65,484	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

<ul style="list-style-type: none"> 市民に図書館資料をより多く利用してもらう。 市民の役に立つよう図書館資料を整備する 	成果指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)
	市民1人当たりの貸出冊数	冊	1.00	1.00	1.00	1.00	
	市民1人当たりの蔵書数	冊	1.00	1.00	1.00	1.00	

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

生涯学習を行う場が充実している。	上位成果指標	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)
	図書館入館者数	人	296,689	292,792	295,712	260,018	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	21年度(実績)		22年度(実績)		23年度(実績)		24年度(実績)		25年度(目標)	
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	3,412		2,334		369		2,258			
	事業費計(A)	千円	3,412		2,334		369		2,258		0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			図書費	2,710	図書費	1,952	図書費	0	図書費	1,888		
			消耗品費	702	消耗品費	382	消耗品費	369	消耗品費	370		
人件費	人	1		1		1		1				
のべ業務時間	時間	400		600		600		600				
人件費計(B)	千円	1,576		2,433		2,420		2,406		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,988		4,767		2,789		4,664		0		

事務事業名	葛生図書館貸出事務	担当部	生涯学習部	担当課	生涯学習課	担当係	社会教育係
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	大正13年10月葛生町立図書館として開館、昭和30年葛生町立図書館条例が制定される。2度の移転を経て、昭和54年葛生文化センター1階に設置され、現在に至る。平成17年の合併により、名称は佐野市立葛生図書館となる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	・利用者が読みたい本を要望する件数が増えている。 ・近隣の図書館では、貸出冊数を10冊としているところもある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	・貸出冊数をもっと増やしてほしい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
やり方改善(成果向上の見直し)	・選書、発注方法を見直し、より葛生図書館の実情に則した蔵書構成をめざすものにした。
事業統合・連携	・不要な資料を除籍し、利用しやすい配架を考えた。 ・児童書—公開室の配架冊数を少な目にし、表紙を見せるスペースを確保した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	多様な図書館資料を整備し、市民に提供することで、市民への学習の場の提供に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市民の知る権利を保障していく役割が行政にあると考えるので、市が行うことは妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	市民に有用な図書館資料を揃え、整備して行くことは、対象と意図が妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	指定管理者制度を導入することで、利用者のニーズに対応した貸出冊数の増や開館時間の延長による利用者サービスの向上につなげられる可能性がある
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案	類似事務事業名 佐野館 田沼館 学校図書室 公民館図書室 ・佐野館 田沼館とは、今後も連携をとり所蔵資料の住み分けを行うなど協力して行きたい。 ・学校図書室 公民館図書室の資料のデータベース化や資料の運搬システムが確立すれば、連携は可能である。また、職員間の人的交流を図ることができれば、なお有効な連携ができる ・類似事業との連携は図れるが、それぞれ貸出業務を行う意味はあるので、統合はできない。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	人件費の削減余地がある	理由・改善案	指定管理者制度を導入することで、人件費を削減することができる。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	図書館法により、図書館無料の原則があり、対価の徴収は難しい。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	図書館の業務として貸出事務は学習の場の提供に必ず必要なものなので、休止・廃止はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
やり方改善(成果向上の見直し)(有効性④の結果) : やり方改善(コストの見直し)(効率性⑥の結果) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 指定管理者制度を導入することで、サービスの向上と経費削減を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×	平成25年4月から、指定管理者制度の導入が行われ、提案により図書館資料費が増額となる。
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持			×																			
	低下		×	×																			